

基礎教育科目	講義科目	本科目はオンラインで行いますが、受講に際しては受講料が別途必要です	受講料	5,000円	
科目名：	ニュース検定		科目コード	AA83	
科目主査：	由川 稔	担当講師：	由川 稔	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>現代社会の動向について、基本的な事柄をバランスよく知り、多角的に分析することは、私たちの日々の行動を良識あるものにし、また将来に向けた判断を改善することに役立ちます。「インテリジェンス」という言葉に触れる機会も多い近年ですが、その基礎は、いわゆる「裏情報」などではなく、私たちがその気になれば容易に得ることのできる一般情報にこそ、あります。偏向報道や印象操作の影響をまったく受けないようにすることは難しくても、まずは幅広い常識を身につけ、事後学習も含めて、ニュース検定合格を目指しましょう。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点などがあったら質問できるように準備してください。日頃から各種メディアの動きを注視し、情報の持つ意味を考えるようにしてください。				
テキスト	①『ニュース検定公式テキスト「時事力」発展編（1・2・準2級対応）』日本ニュース時事能力検定協会, 最新版 ②『ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」基礎編（3・4級対応）』日本ニュース時事能力検定協会, 最新版				
この科目の到達目標	①ニュース検定に合格するための基礎的な時事問題について理解できる。 ②世の中にあふれる情報を分析し活用するためのリテラシーを高めることができる。				
成績評価の方法	最終試験に加え、課題の提出など、授業に取り組む姿勢を評価の対象とする。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。				
事後学習	積極的に新聞やニュースなどの情報に接するとともに、なるべく多くの解釈や見解にも触れるように心がけてください。				
事後学習の参考文献	テキスト巻末にある「ニュースのことば」および「索引」に列挙されている用語やテーマから、興味の湧いたものについて、各専門分野の書籍やインターネット上の記事や論考を検索し、知識を深めていってください。				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					